

会 議 録

1 会議名

平成29年度 第3回和田区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 平成29年度地域活動支援事業について(報告) (公開)

(2) 平成29年度地域活動支援事業について(審査採択) (公開)

(3) 自主的審議事項に係る提案

雪を生かした地域づくりの推進について(公開)

(4) 自主的審議事項に係る提案

住民組織の充実と地域活性化について(公開)

3 開催日時

平成29年7月25日(火) 午後6時31分から午後8時35分まで

4 開催場所

ラーバンセンター 第4研修室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者(傍聴人を除く)氏名(敬称略)

・委員:水澤俊彦(会長)、橋本 勲(副会長)、秋山澄子、有坂正一、泉 幸雄、
市橋邦夫、岩澤 弘、植木泰行、笠原完治、小林春男、高橋善昭、
土屋史郎、平原 匡、

・事務局:南部まちづくりセンター 佐藤センター長、榎島係長、小林主事

8 発言の内容

【榎島係長】

- ・前川委員を除く13名の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・同条例第8条第1項の規定に議長は会長が務めるとあるが、会長の体調不良によ

り、地方自治法第202条の6第5項の規定により、副会長が職務を代理することを報告

【橋本副会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：平原委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料により説明。

—平成29年度地域活動支援事業について(報告)—

【橋本副会長】

次第3報告(1)「平成29年度地域活動支援事業について(報告)」に入る。事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料No.1により説明。

【橋本副会長】

事務局の説明について質疑を求めるがなし。

—平成29年度地域活動支援事業について(審査採択)—

【橋本副会長】

次第4議題(1)「平成29年度地域活動支援事業について(審査採択)」に入る。

追加募集の提案事業全てについて、提案者の事業説明と質疑応答のあと審査、採点をし、事業の採択、補助金額等の決定を行う。

正副会長は審査、採択に加わるため、事務局に会の進行を求めることを諮り、委員全員の了承を得る。

【佐藤センター長】

- ・提案…4件補助希望額計238万円、予算配分額比5千円分少ない
- ・1事業につき、事業説明5分以内、質疑応答10分以内、審査と採点2分以内
今の説明について質疑を求めるがなし。

審査、採点を始める。

整理No.8「和田地区（大和小学校区）交通安全推進事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【高橋委員】

今回の3か所以外に、カーブミラーを設置した方がよい所はあるか。

【提案者】

今回の3か所は、地域住民からどうしても設置してほしいと要求された箇所。日常の中で、特に危険な場所として要求された。緊急課題として3か所だけ提案した。それ以外はない。

【笠原委員】

今回は和田西部支部なのだが、当初募集で事業提案し採択された和田東部支部の事業と比べると、のぼり旗やポールの単価が違う。こののぼり旗は和田東部支部の半値であるが、大丈夫か。

【提案者】

市内の防災や交通安全用品の業者2者から見積書をいただき、安い方の金額で提案している。

【笠原委員】

和田東部支部と和田西部支部では見積り先が違うのか。

【提案者】

分からない。

【笠原委員】

単価は大丈夫か。

【提案者】

その業者を通してしているので。そこから購入したい。

【岩澤委員】

上越妙高駅周辺で行われている道路工事が落ち着いた後、新たにカーブミラーが必要となった場合、その時点でこのような機会があれば提案するか。

【提案者】

大変ありがたい話。

今年6月、1千戸の皆様から30万円の車両割会費をいただくなど、年間予算が50万円。その中から事業をすると、予算を越えてしまう。これまでの積み立てを取り崩して事業を行ってきた。

皆さんから協力いただいて防犯灯のLED化をしたので、そちらは、10年間くらいは大丈夫かと思う。

必要なカーブミラーもほぼ設置したが、駅周辺の整備に伴うものが今後出てくる可能性がある。生活の中で緊急性がある必要なものなので、市が設置してくれなければ、これまでも我々が設置してきた。

10万円のものが2つで20万円。事業で30万円の予算に対し50万円かかり20万円くらい予算オーバーして事業を進めてきた。

今回、ボロボロになった旗などを取り替えようと提案した。他の町内はきれいなぼり旗なのに、うちのものは薄汚れ、切れたり折れたりしている中で、会員からも少しずつ取り替えたらどうかという声があり、少ない予算の中で更新を考えていた。

看板も新しくしていけば、環境も変わり事故防止になるということで、我々としても大変喜んで提案した。よろしく願いしたい。

【佐藤センター長】

質疑応答の時間が終了。

— 提案者退席 —

・委員に審査、採点を依頼

— 審査採点シート 採点、回収、集計 —

整理No.8「和田地区（大和小学校区）交通安全推進事業」の審査を終了。

続いて整理No.9「町内会自主防災事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【泉委員】

大和2丁目町内会は防災訓練を毎年一生懸命していると聞いている。

以前も中越地震復興基金で防災機器を整備したと思うが、現在どのような機器を持っているか。

また、市の自主防災組織等活動育成事業補助金を活用した経験はあるか。

【提案者】

特徴的な機器として投光器の他、主なものは炊飯釜、ストレッチャー2基。車椅子がないので車椅子を、リヤカーも非常に便利なのでお願いしたい。

市の自主防災組織補助金は、現在申請していない。

【泉委員】

では上限の30万円が残っているのか。

【提案者】

今のところ予定していない。

【笠原委員】

和田地区の模範となる活動、提案だと思う。

大和2丁目は210世帯の大きな町内会。リヤカー1台、車いす1台で足りるか。

【提案者】

非常時にはもちろん足りないと思う。いずれにしても資金面から、当面は車いす1台とリヤカー1台を提案する。他にストレッチャーが2基ある。

【笠原委員】

それと合わせて、いけるだろうと。

【提案者】

足りないことは足りないが。

【小林委員】

市の自主防災組織補助金上限30万円は、使ってもらいたい。その制度は平成31年度で終わってしまう。使わないと残ってしまうが、予定は。

【提案者】

この他に欲しいものがあれば、申請したい。車椅子やリヤカーも追加できれば申請したい。

【佐藤センター長】

質疑応答の時間が終了。

— 提案者退席 —

・委員に審査、採点を依頼

— 審査採点シート 採点、回収、集計 —

整理No.9「町内会自主防災事業」の審査を終了。

続いて整理No.10「町内子供達の安全と健全育成事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者1】

— 事業概要に基づき説明 —

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【土屋委員】

今回すべり台の提案だが、他にも実施したいことはあるか。あれば予定を。

【提案者1】

今のところ、すべり台だけを考えている。神社の境内で、場所もない。

【平原委員】

この辺りの地域では、今まではどのように遊具を購入していたか。

【提案者1】

以前のことは存じていない。

【提案者 2】

町内会長になり 5 年たつが、前町内会長に聞いた。

今、遊具は、すべり台の他にブランコ 2 基、ジャングルジム、あとは呼び方が分からないものが設置されている。特にブランコは鎖が傷むと危険なので、町内会予算で補修してきた。

設置当時、旧今泉町内会が全額負担したか、市の補助があったのか、諸先輩でお亡くなりの方もあり、はっきりしたことは分からない。

【橋本副会長】

関連して、私の経験ではブランコとシーソーは市から貸与という形で提供を受けたと思う。ブランコの鎖の摩耗など危険だということで、現在点検を行っており、摩耗したものの取替等には市で予算を持っている。すべり台については分からない。

大型遊具には補助があるかなとも思うし、ブランコの鎖等は全額補助してくれる。そのようなことはできるので、これでも不足があればそちらへも申請すればよいのではないか。

現実にはそれをしたことがあるので、利用したらどうか。あわせてすべり台にも補助があるかどうか、また確認を。

【泉委員】

すべり台の補助は対象外。腐れば危険なので全部撤去。

【提案者 1】

ブランコの鎖は確かに相当摩耗していて、実は去年秋そこだけ新しく交換した。市の補助金は知らなかったなので、町内会負担で修繕した。

【橋本副会長】

利用できればよい。

【平原委員】

ということは、大和地区にある遊具は市から貸与という形か。

【橋本副会長】

台数に上限があるかもしれないが、和田小学校区では、各町内は必ず何らかの形で持っている。

ただ、事故があると困るので市で定期的に来て、その時に見つけて直すこともあるし、町内会が申請して直すこともある。確か鎖は5、6万円で直してくれたと思う。そういうものもまた利用できればと。

【佐藤センター長】

質疑応答の時間が終了。

— 提案者退席 —

・委員に審査、採点を依頼

— 審査採点シート 採点、回収、集計 —

整理No.10「町内子供達の安全と健全育成事業」の審査を終了。

整理No.11「音楽文化による上越妙高駅とその周辺地域の賑わい創出事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【市橋委員】

昨年7月に浴衣を着て、イベントをしていたのはみなさんか。

【提案者】

上越妙高駅の夏祭りと一緒にした。どうせ盛り上げるなら、一緒にすればにぎわうだろうということで、それに合わせて浴衣を着た。

【市橋委員】

たまに見に行くが、浴衣の時は若い人もたくさんいて非常によかった。高校生も参加したということで、少しずつだが浸透してきているし、理解も進んできたと私自身感じている。

【土屋委員】

精力的でよいと思う。

今年の3月のライブを聞いたが、風で寒くそこにいられず2階から聞いていた。何かついたてのようなものが冬には欲しい。夏に浴衣を着るのはよいのだが。

また今年度これまで4回実施しているが、スポンサーはいるのか。

【提案者】

特にいない。できればスポンサーを見つけないが、そのための時間がない。

【土屋委員】

東京に単身赴任していた時、丸の内北口では毎週1回駅コンが開かれていた。定期的に実施しているので、かなりの固定客がいた。このライブもそろそろそういう時期に入ってきているので、PRを充実させて、いつ行ったら開かれているということを定着させたらよい。非常に良いことだと思う。

【提案者】

ありがとうございます。

【橋本副会長】

盛り上げるには、音を使うものや、先ほどの浴衣等とコラボしていただければよいと思う。

学校の生徒やアマチュアの方で実施しているが、希望するグループは誰でも参加できるか。

【提案者】

基本的にどなたでも。事前相談のうえ、出ている。

【橋本副会長】

音によるにぎわい創出は、とても良いと思う。ただマンネリ化が心配なので、出演団体の幅を広げ、関連する方々が観客、聴衆になるなどの工夫をすると、とても良い。

【提案者】

ありがとうございます。

【岩澤委員】

昨年の補助希望額より大幅に金額が増えているが、それなりの理由があると思う。また園児参加費ひとり200円でいろいろ用意されるが、これだけでよいか、もっと用意してもよいと思う。

補助希望額が大幅に上がった理由は。

【提案者】

去年は2か月に1回程度だったが、今年は、毎月1回開こうということがひとつ。

今年特別に考えているのは12月のクリスマスと3月の開業3周年、それに合わせた盛り上げとして、今まで参加してもらった多くの方に声をかけ、いつもよりも盛大にしたいと。

新幹線開業の時に東口ドームに桜が飾られた。私たちは当時5市を回り桜の花びらのカードにお祝いのメッセージを書いてもらい集めた。それと同じようなことを子どもたちにしてもらいたいと思う。それに参加し書いてくれた子どもにお礼をしたいので参加賞の予算を組んだ。

【岩澤委員】

分かった。

【佐藤センター長】

質疑応答の時間が終了。

— 提案者退席 —

・委員に審査、採点を依頼

— 審査採点シート 採点、回収、集計 —

整理No.11「音楽文化による上越妙高駅とその周辺地域の賑わい創出事業」の審査を終了。

— 5分休憩 —

— 審査採点結果説明 —

・基本審査で不適合が過半数となった事業なし

・優先採択審査でその他事業となった事業なし

・共通審査の委員採点で得点が多い順に順位づけ

1番 整理No.8 和田地区（大和小学校区）交通安全推進事業 275点

2番 整理No.9 町内会自主防災事業 263点

3番 整理No.11 音楽文化による上越妙高駅とその周辺地域の

賑わい創出事業 225点

4番 整理No.10 町内子供達の安全と健全育成事業 202点

審査採点結果に基づき、橋本副会長に採択審査の進行を求める。

【橋本副会長】

採択事業の検討を始める。

採択事業と補助金額を決める。

補助希望額の合計が予算額に収まっていることから、整理No.8～11の事業全てを採択することについて、意見を求めるがなし。

全ての事業を採択することを諮り、委員全員の了承を得る。

補助金額について意見を求めるがなし。

全ての事業を補助希望額どおり補助することを諮り、委員全員の了承を得る。

提案者への附帯意見を求める。

【平原委員】

すべり台は、今までは市からの貸与だったが、今回補助金ですべり台を買うと町内会のものになる。

すると、町内会がメンテナンス等と事故時の責任を負うことになる。このことについて情報共有した方がよいと思う。

【橋本副会長】

遊具を買う事業の提案者に、購入後のフォローを責任持って行うようにという附帯意見を、という意見だった。

市が貸与しているものは、市が責任を取らなければならないので、市は定期的に回り鎖を直すなど対応している。

今の意見を、整理No.10「町内子供達の安全と健全育成事業」への附帯意見とすることを諮り、委員全員の了承を得る。

【平原委員】

他地域でもあれば、条件をそろえた方がよいと思う。マニュアルが既にあればよいが、なければこれが先例になる。

【有坂委員】

関連して、すべり台の貸与は市のどの部署からか。

【橋本副会長】

分からない。

【有坂委員】

それでは、市から貸与されたものの維持管理に関し、どの部署に申請すればよいか分からない。

【橋本副会長】

聞けば教えてくれる。金額等も変わっているかもしれない。

【平原委員】

管財課あたりか。

【橋本副会長】

そうだろう。

【有坂委員】

分かった。

【橋本副会長】

センターで確認してもらったらどうか。

【佐藤センター長】

制度自体が現在も続いているかどうか、そこから確認が必要。

【有坂委員】

かなり古くなっている。

【泉委員】

貸与なら、古くなれば替えてくれるはず。貸与ではないと思う。

【橋本副会長】

今あるものは貸与。それが使い物にならないなら、市が引き取ると思う。すべり台は分からないが、ブランコやシーソーは現に引き取ってもらうかどうか検討している町内会もある。

【平原委員】

買い替える場合、古いものは市の許可を得て廃棄か。

【橋本副会長】

そのとおり。勝手に廃棄できない。

【泉委員】

管轄がどこで、貸与なのか補助制度なのかを、センターで確認しはっきりさせてほしい。

【橋本副会長】

センターと正副会長で確認し、報告する。

附帯意見の文言は、その後にするか。

【有坂委員】

それでよい。それが分からないと。

【橋本副会長】

分かった。

【有坂委員】

同じ大和2丁目の自主防災事業について、質疑でも出た市の自主防災補助金30万円が別途使えるなら、それも活用して防災資機材を増やし備えてもらえば、いざという時に隣接町内会にも提供できると思う。できる限り防災資機材を増やし備えてほしい旨の附帯意見を。

【橋本副会長】

そのような補助を受け、防災資機材をより充実させてほしいということでしょうか。

【有坂委員】

そのとおり。

【佐藤センター長】

先ほど、遊具の制度確認後に附帯意見の文言をとということだったが、その場合次回会議まで待つ必要がある。事業提案者には速やかに採択通知する必要があるため、この場で附帯意見を決めていただきたい。

【橋本副会長】

事務局の説明について、意見を求める。

【平原委員】

購入に当たり市とよく協議を、という内容でよいのではないか。

【橋本副会長】

それなら問題ないか。市と協議するということでは駄目か。

【泉委員】

市と協議でよい。駄目になったら市に寄付すればよい。可能かどうかも分からないが。

【橋本副会長】

泉委員からも話があったが、今すべり台は貸与していないと。他の遊具は、そのような制度があることは間違いないが内容はよく分からない。

【榎島係長】

今、市から貸与された遊具の話になっているが、最初の平原委員の意見は、町内会が備品として遊具を整備した場合のメンテナンスや事故防止に関するものだった。市の遊具を市が定期的に点検するのと同様、町内会においても配慮をという趣旨だった。

市が遊具を貸与するという制度については、内容を確認し次回の会議で報告したい。

【橋本副会長】

平原委員から最初に出された意見のとおりでよいか諮り、委員全員の了承を得る。市の制度については次回報告を受けたい。

他の附帯意見について、意見を求めるがなし。

5千円の予算残額の取扱いについて、少額なことから三次募集を行わないことを諮り、委員全員の了承を得る。

—自主的審議事項に係る提案「雪を生かした地域づくりの推進について」—

【橋本副会長】

次に、次第4議題(2)「自主的審議事項にかかる提案『雪を生かした地域づくりについて』」に入る。

Aグループから挙げられた、雪をテーマにした取組を自主的審議事項とすることとしたことから、正式な手続きとして資料No.2の提案書を受けた採決を行う。質疑を求めるがなし。

自主的審議に係る提案「雪を生かした地域づくりの推進について」を自主的審議事項とすることに賛成の委員に挙手を求め、委員全員の賛成により自主的審議事項とすることに決する。

平原委員から提案があるので説明を求める。

【平原委員】

- ・雪を利用しているところの視察を委員研修として提案
- ・雪活用の先進地である安塚区のゆきだるま財団を視察
- ・当日配布資料No.2により説明
- ・他にも雪室推進プロジェクトのイベント「雪室サマーステーション」も見学を

【橋本副会長】

平原委員の説明について、質疑を求めるがなし。

提案された研修の実施に賛成の委員に挙手を求め、委員全員の賛成により実施することに決する。

—自主的審議事項に係る提案「住民組織の充実と地域活性化について」—

【橋本副会長】

次に、次第4議題(3)「自主的審議事項にかかる提案『住民組織の充実と地域活性化について』」に入る。

Cグループから挙げられた、「懇談会・リーダー・組織」をテーマにした取組を自主的審議事項とすることとしたことから、正式な手続きとして資料No.3の提案書を受けた採決を行う。質疑を求める。

【泉委員】

リーダーの育成を含めてどうあるべきなのかということが、私たちが議論してきた経緯。活性化を進めるとあるが、懇談会を含め進めるためには、今はまだ下打ち

合せもしていない段階で誰がリーダー、まとめ役になるかもはっきりしていないため、もう少し時間をかけて下作業をしないとなかなかできないと思う。

どのようなメンバーに声をかければよいかについても、具体的になっていないため、もう少し時間をかけた方がよいと思う。

【橋本副会長】

Cグループの他の委員に意見を求める。

【高橋委員】

泉委員のとおり、この問題は本当に時間をかけ地道に進めていかないと、なかなか組織が活性化しないし、横のつながりが展開できないと思う。

時間をかけて進めていけばよいと思う。

【橋本副会長】

他に意見を求めるがなし。

自主的審議に係る提案「住民組織の充実と地域活性化について」を自主的審議事項とすることに賛成の委員に挙手を求め、賛成10名、反対なし、賛否意思表示なし2名により、自主的審議事項とすることに決する。

自主的審議事項が2件決定したが、まずは先ほど提案があった雪利用の視察から始め雪について話し合いながら、2件目の組織について併せて議論していきたいと思う。このことについて意見を求める。

【小林委員】

自主的審議事項にすると決まった雪については、視察してからいろいろ意見を出してもらい討議する方がよいと思う。

【橋本副会長】

両方自主的審議する前提で、雪に関する研修を行う。

【榎島係長】

- ・自主的審議事項は、審議する内容やスピード、かける時間に一切決まりなし
- ・組織の話は時間をかける必要があるという指摘があるが、時間をかけられる
- ・視察に行き雪の話から始め、並行して組織についても時間をかけた議論が可能

【橋本副会長】

明日明後日に決める必要はないので、どれくらい時間をかけるかは別としても2件を並行し議論し、それにまつわる研修を進めたい。また考え方が変わってくる部分もあると思うが、並行しながら時間をかけて進めたいと思う。これについて意見を求める。

【笠原委員】

安塚の研修は予定があり参加できない。行けない委員もいる。

【橋本副会長】

どちらの件も研修が絡むだろうし、議論の場も出てくると思うが、全員参加というのは無理ではないか。自主的審議にすると決めたので、先ずは雪について具体的なスケジュールが提案されたので、それをまず実施したらどうか。

欠席は残念だが、欠席者は参加者からいろいろな話を聞いてもらえばよいと思う。それでよいか。

【笠原委員】

よい。

—事務連絡—

【橋本副会長】

事務局に事務連絡を求める。

【佐藤センター長】

- ・雪だるま財団への視察：8月3日（木）午前8時集合
- ・次回協議会：後日日程調整
- ・地域活動支援事業：採択結果を受け速やかに補助金交付決定
- ・南部まちづくりセンター移転のお知らせ配布
- ・配布資料

上越市 主要事業プロジェクトの概要

ウィズじょうえつ

【橋本副会長】

事務局の説明について、質疑を求めるがなし。

【佐藤センター長】

- ・委員研修：ラーバンセンター駐車場集合、マイクロバスで移動

【橋本副会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。